



ブランド米「するがの極」をPR (10月14日)

JAなんすんがブランド米として販売する「するがの極」のPRのため、組合長らが市役所を訪れ試食会が行われました。今年は、市内では15件の農家が栽培に参加し、約11トンの収穫がありました。試食した高村市長は「つやつや、ふっくら、もちもちとした食感が印象的でとても美味しいです」と感想を述べました。

想像力豊かなアイデアを表彰 (10月21日)

生涯学習センターで第21回児童生徒アイデア展表彰式が行われました。このアイデア展は、次代を担う児童・生徒が創作する喜びと探究する楽しさを体得し、豊かな感性を養うことを目的に毎年開催されています。表彰された子どもたちは、緊張した面持ちで賞状を受け取っていました。

特派員：村井 之俊、村井 藍



千歳飴1,280本を寄贈 (10月23日)

株式会社不二家から昨年に続き千歳飴が贈呈されました。贈呈された1,280本の千歳飴は、市内の幼稚園・保育園に通う5歳児の七五三行事の際に配布されます。高村市長は「今年もありがとうございます。千歳飴を受け取った子どもたちの喜ぶ笑顔が目に浮かびます」とお礼を述べました。

楽しみながらラグビーの基本動作を学ぶ (10月21日)

西小学校グラウンドでラグビー体験授業が行われました。プロの選手によるパスやキックなどのデモンストレーションの後、授業で取り入れられているタグラグビーの基本動作を学びました。参加した6年生の児童はラグビーの魅力に触れ、元気にプレーしました。





富士山のすそので快音を響かせ タイムを競う

(10月25日)

TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジ in 富士山すその2020が運動公園で開催されました。雲一つない青空で絶好のレース日和となり、各地から出場を楽しみにしていた79チームが集結しました。エンジン音を響かせて次々にスタートすると、果敢にタイムに挑んでいきました。

コロナに負けない地域のつながり作り (11月1日)

ふれあい塾本村下区は、本村下公民館で写真展を開催しました。展示されたのは、同区民から集められた作品ばかりで、富士山の写真や花、イラストなどです。「ほんそんしもくの今昔」と題し同区の今と昔を写真で振り返るコーナーでは、足をとめた来場者が写真を見ながら思い出話に花を咲かせていました。



医療従事者の癒やしになれば

(11月5日)

市内出身のシンガーソングライター フルヤトモヒロさんが裾野赤十字病院を訪れ、8月に発売したチャリティーCD「真夏のシンデレラ」の売り上げの一部を寄付しました。フルヤさんは「少しでも癒やしになればと思い、曲調がゆったりとしてリラックスできる歌を作りました。皆さんの役に立てばうれしいです」と話しました。

リモートで京都の文化を体験

(11月5日)

東中学校で、修学旅行の代替行事としてリモート修学旅行が行われました。京都に住んでいる芸人が司会を務め、クラス対抗のクイズ大会や薬師寺の住職の法話、和菓子作り体験をリモートで行いました。和菓子作り体験では、モニター越しに京都の職人の説明を受け、どの生徒も真剣な表情で練り切りに挑戦しました。

